



まだ風は冷たいけれど春を見つけに行く

森林浴ハイキング

毎年この時期になると、梅はどれくらい咲いているか楽しみに歩きます。いちばん寒い季節ですが、アップダウンにとんだ歩きがいのあるコースなので、じきに体もあたたかくなります。

〈日時〉2月5日(土) 雨天中止
 〈コース〉長柄交差点↓南郷公園↓乳頭山↓田浦梅林↓田浦駅

14時解散予定
 〈集合〉長柄交差点バス停 9時30分
 〈参加費〉300円(保険・資料代)
 〈持ち物〉弁当、飲料水、
 〈服装〉長袖、長ズボン
 はきなれた靴、帽子

〈申込み〉葉山・山楽会 前沢
 046(875)8690



もう咲いたでしょうか



葉山小学校のサクラ

レッツ！ハイキング

春を探そうお花見をしよう！
 お花見シーズンの恒例企画です。今年ほど満開の桜に出会うことができるのでしょうか？お楽しみに！

- 〈日時〉3月26日(日) 雨天中止
- 〈時間〉10～12時
- 〈定員〉5組10名程度
- 〈集合〉葉山町消防署前
- 〈解散〉葉山町図書館前
- 〈参加費〉ファミリー1組千五百円
- 〈対象〉3歳以上の子どもと保護者、海と自然に興味のある大人
- 〈持ち物〉飲み物、歩きやすい服装、ハイキングに適したシューズ、双眼鏡、タオル、ウインドブレーカーなどの防寒着
- 〈申込み〉NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター
 TEL 046(876)2287
 FAX 046(876)2297

新鮮な野菜を求めどこまでも

〈朝市と野菜直売所〉



スーパーにも地元産の野菜が並び人気を集めている昨今。生産者により近い朝市と直売所の野菜は要チェック。多めの小銭とエコバッグを持っていざ出発！
 〈注〉直売所はすべて不定期に営業しています。了承の上でお出かけください。

堀内 葉山マーケット

遠方から来るファンも多く葉山の多種多様な店が集まっています。海産物、加工品、野菜：なかには長蛇の列ができる人気商品もあり、その場で食べられるホカホカの朝ごはんがあるのはここだけ！
 バス停「鑑摺」下車、葉山港にて。
 〈日時〉毎週日曜 8時30分～10時30分



野菜部産直市

葉山町内の色々な畑から集まった新鮮な野菜がそろっています。バス停「葉山大道」下車、T字路の角、JAよこすか葉山・葉山支店の前に並びます。
 〈日時〉毎週日曜・水曜 8時30分より
実教寺の坂の野菜直売スタンド
 葉山町消防署の交差点から慰霊塔を左に見る急坂をのぼり、トント工房を見てさらに道なりにいくと、右に曲がるT字路の角に立っています。
 〈日時〉不定期 冬場は少なめとのこと



上山口 湘南国際村朝市

新鮮な野菜の数々と加工品、竹細工も人気です。湘南国際村センター正面の玄関で営業。バス停「湘南国際村センター前」下車。〈日時〉毎週日曜 9時より
石井ファーム直売所
 畑の入口に建つ木造りの小屋。「牧場」で出る堆肥でつくった野菜は味が「旨い」と石井さん。バス停「湘南国際村間門沢調整池」下車、ファンケルの隣。
 〈日時〉不定期の日曜、9時より
 〈問合せ〉046(878)7308 石井

赤い鳥居そばの野菜直売スタンド

バス停「上山口小学校」下車、バス通りの横断歩道の近くから小学校とは反対方向に細い道に曲がり直進、突き当たりに見える赤い鳥居の右横のボックス。小さいが元気に主張している直売所。ルッコラおいしかったです。〈日時〉不定期
とりたて野菜即売所
 野菜とともに加工品も豊富。すぐ隣の加工所で地元の野菜から手作りし、保存料なし、無添加が魅力。ルバーブジャムや、味噌、漬け物、コンニャクも。バス停「上山口小学校」下車、逗子方向に少し行き、そば屋の看板で曲がる、杉山神社の前。
 〈日時〉第一、第三日曜 午前8時より



葉山フォト風景 2011



葉山マリーナから富士江ノ島を望む



評判の真名瀬大漁旗



初富士と鷹(?)



出初式で演奏する南郷中学校吹奏楽部



初春を走る三浦半島駅伝



かすかに富士が見える久留和海岸



毎年大勢の人が集まる伝統のどんと焼き

「食べる」「遊ぶ」を大切に「葉山にこにこ保育園」

「葉山にこにこ保育園」が昨年10月に園舎2階を増築し、定員増になりました。「葉山にこにこ保育園」は長柄の奥、緑に囲まれたところにあります。『日光』と『いつでも笑顔で』という思いを込めて

『にこにこ』と名づけました。6人の子供たちのために始めた保育園も、今では園児の定員数は85名になりました。子供たちにとっていちばん大切だと思うのは食べることに遊ぶこと。いつも自然と共にある保育、

からだで体験する保育を大切にしています。と園長の松尾さんは語ります。

子供たちの食材には、ご飯と季節の野菜中心の無添加素材、自然に近いものを心がけ、アレルギー対策も充実。特に野菜料理は

洗ったり刻んだり煮たりと手間がかかります。ここでは野菜をたくさん取り入れられるように自然と和食の献立になります。どうやって楽しく食べられるか、この子はどのくらい食べられるか、また配膳の仕方など、食の自立をたえず試行錯誤し、食べさせる前には必ず職員が試食をしています。

はじめは食べることに興味はなかった子でも「どれ食べる？」と聞くと「これ」とだんだん指をさすようになり、そのうちに自分の手でスプーンを口に運べるようになります。お昼寝の時間には、はじめは「寝るの



はじめは「寝るの

なんか嫌だ」といつか嫌だにか夢の中。起きたらおいしいオヤツが待っているからです。

遊びの体験をする保育では、葉山の恵まれた自然を生かし、春から秋まで週に1回ひとクラスずつ園バスで一色や森戸、逗子海岸まで出かけます。

最年長のためのこ組は卒園までに田浦梅林まで歩きます。およそ3時間半かかりますが、途中でやめる子は誰ひとりもなくみんな元気いっぱい。一緒に行った大人の方がクタクタになってしまっています。日頃から葉山の野山をお散歩コースとしている子供たちのたくましさです。

「子供たちといると毎日楽しく、逆にパワーをもらっています」と松尾園長は笑って話していました。(登録団体名はNPO法人 子育ての里・食と遊です)



造る

地域に融合する「トントン」の活動

「トントン」という可愛い名前の施設が、花の木公園の近くにできました。「トントン」は機を織るトントンという音、そしてドアをノックするトントンという音から名付けられたそうです。「どなたでもどうぞいらしてください。一人一人できることをしながら安心して過ごせる場所ですよ」という思いがこめられています。

心の病を持つ人や、生き辛さを抱える人は一人で閉じこもりがちになります。家族も悩みを抱え込みます。

NPO法人青い麦の会は精神障がいを持つ人と、その家族を支援するためにつくられました。「葉山にも作業所をー」の願いから作業所トントンができたのは平成14年。平成22年、堀内に新築移転してスタートしたのが通所施設「トントン」です。



メンバーの心がこもった作品

現在38名のメンバーが登録しており、スタッフは常勤3名、非常勤2名と会計1名。施設長の雨宮さんを中心にボラン

ティアとのチームワークもよく、なかなか雰囲気です。

トントンの事業は大きく2つ。

・地域活動支援センター「ポート」

通所するメンバーの抛り所になり、安定して生活できることを目指します。くつろいで安心できる人間関係をつくる場所です。

・トントン工房

一人一人その人らしく自立して地域で暮らすため、自信を取り戻し、力を付けて次のステップにすすめるよう目標を持って作業する場所です。

主な作業は、機織りやビーズ手芸など自主製品の作成や販売、事業所からの外注作業、情報誌などのポスティング、葉山町役場売店での販売業務、弁当の製造と販売、翻訳、ホームページ作成、学習支援などです。

とくに弁当は2年前から始め、評判もよく、順調に売れゆきが伸びています。日替わりメニューの手作り弁当で、とにかく味がいい。メンバー、スタッフ、ボランティアが手分けして作っている手元から美味しそうな匂いがたちのぼります。

「以前のトントンは台所が狭かったけど、厨房が広くなって働きやすい」とう



480円で大満足のポリウム!

うれしい声。

今では社協、保健センター、図書館、老人ホームからの注文も増え、車で配達もしています。

ある日のメ

ニューは、鮭の西京焼き、焼きネギそえ。れんこんとちくわのきんぴら。ピーマンとパプリカのチーズマヨ焼き。漬物、ごはん、みそ汁もついて480円。町役場の売店でも売られ、早くに売り切れてしまうこともあるそうです。

2階のコミュニケーションルームは、いろいろな利用の仕方を検討中。お天気がいいと江ノ島や富士山も見える見晴らしのいい部屋です。「地域の人の利用していただけるとうれい」と雨宮さん。

「こういう施設をつくる時、以前は反対運動が起きたものです。ところが、ここ葉山では反対どころか地域の方が温かく迎え入れてくださり、たくさんの方の協力支援までしてくださり感謝にたえません」と、家族会の人が感謝を繰り返されたのが印象的でした。

「トントン」は精神障がいのある人、その家族、そして地域の人もともにあるものです。これから葉山でたくさんの方の理解と優しさ、協力で支えられ交流し、ともに育ち合っていくことを願っています。

歌う

みんなで歌おう アミスタ会

好きな歌を歌うためにもっといい声が出せるようになったら、どんなにうれいことでしょうか。そんなボイストレーニングの教室です。

指導は、東京音大出身で元NHKのラテン歌手であり、古賀政男歌謡学院の講師もされた小笠原玲子先生です。

毎月の団体レッスン、個人レッスン、3ヶ月に1度の「みんなで歌おうアミスタ(友情)会」ときまざまです。

なかでも老人ホームやデイケア施設を訪問し、歌の披露が出来る事は私達の励みになっています。



声を出してストレスも発散!

歌うことで喉の筋肉も強くなり、食べ物をつまらせる心配もなくなるのではないですか。

楽しく歌って、心身ともに健康になりましょう!

次回は4月15日(14時~16時 福祉文化会館大会議室)で開催予定です。

皆様の参加をお待ちしています。

〈問合せ〉046(875)0029

60才からの音楽教室 高梨

歩く

春を待つ上山口を歩く 《葉山の道③》 上山口

ある晴れた冬の日、上山口を歩きました。

滝の坂バス停スタート、新善光寺のスロープのぼり道はトンネルのそばから古道海道が通っていた道だそうです。

すぐに六地藏、小花もようのかわいいおべべ、頭巾、頭陀袋が着せてあります。四脚門の階段を白い犬がトコトコおりにきてお出迎え、ずっとついてきてくれました。

葉山ガーデンの先、水源地入口から里道を入ると、とりわけ美しい里山の風景が広がります。心がなぐさめられるような風景を楽しみつつ歩くと、梅林、庚甲塔が。三浦縦貫道のトンネルをこえて、県道を渡り蛇塚工房。道なりのぼると「子の神様」のお社。「間門の庚甲塔」。帝釈天が彫られているのは珍しく、造成



今年も見事な梅林が待ち遠しい

した時に分かれた道にあってものを現在地に移したそうです。上山口大橋をくだり右に入ると観正院。十一面観音菩薩像は連

寺前橋を渡り県道をこえると牛馬家畜を祀った社。道なりにすすんで杉山神社。昔、年の暮れに海で神像をみつけたら、とりあえず杉葉を集めた仮の社に安置したので名付けられたそうです。本殿のしめなわは氏が編んだもの。近くのそばやは平日でも行列の人気店。



野菜直売所から小道を入ると正吟の庚甲塔。里のあちこちから運ばれて現在地へ移されました。

石川家の屋敷墓(屋敷近くに昔からある古い墓)を過ぎ、里道をのぼると棚田のビュースポット。援農ボランティアグループが米作りの作業に励んでいます。調整池を右に行くときよく手入れされた栗林。近くに三留牧場。

間門橋を渡り、お社の先に富士山に見える眺望のよい所があります。お社から

育つ

葉山を花いっぱい「ポピー大作戦!!」

「葉山・花と緑のまちづくりを進める会」は、花と緑を生かした葉山らしい文化・生活環境づくりなどを目的とし、葉山町全域を視野に花と緑のまちづくりを進めています。

活動の拠点となっている旧称逗葉新道沿いの約千坪の花畑「南郷花ひろば」では、1月の水仙から始まり、3~4月は菜の花、4~5月はポピーが花を咲かせ、黄色、赤色、ピンク色などのお花の絨毯が一面に広がります。

「南郷花ひろば」は愛子内親王殿下お誕生記念奉祝事業として平成14年7月に開設されました。春と秋の開花時期と皇族の方がお見えになる時期が重なれば御用邸に花をお届けにあがります。以前「皇居にポピーを持ち帰りたい」



鮮やかな色合いが目を引き

花の季節、道行く人々が車を降りて花を持ち帰りたいと声をかけてくださったり、いろいろな出会いがあります。

葉山に住む人

も訪れる人も、もっともつとこの町が好まくなる「花と緑のまちづくり」はだれでも参加できます。開花の折には、一緒に花摘みを楽しめます。

〈問合せ〉046(875)5163

永井